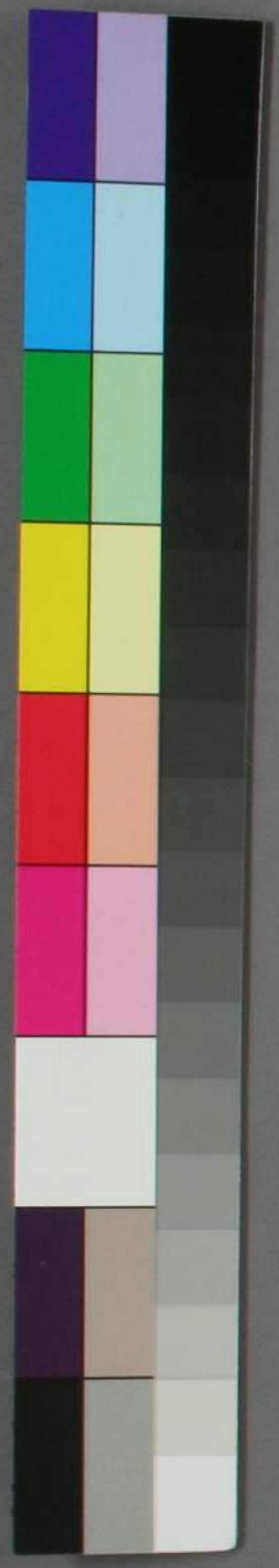


地方凡例録

登
470
5

五

73
470
5



門 410
卷 5

地方凡例錄卷之五

目錄

- 一 分回 希延希 年
- 一 附 延大 延大 延大 年
- 一 欠 采 四 采 年
- 一 口 采 口 采 年
- 一 附 延 延 延 延 延 延 年
- 一 早 府 公 納 年
- 一 三 抄 年
- 一 附 采 永 法 年
- 一 三 級 年



清信馬名入用米六石八斗 四石八斗

一 米米米令限五石五斗

一 糖甘米代三斗

一 小用更淺三斗

附 下町別令物定法三斗

一 山石限三斗

附

一 茶史更納三斗

一 又廣更淺杯出取三斗

一 土布更替出取三斗

一 山物成海取三斗



山年貢 山物成 山石 山子米 野年貢

野年貢 野子米 野年貢 野年貢 山子米 山子米

茶年貢 茶年貢 茶年貢 茶年貢 茶年貢 茶年貢

糖代 糖年貢 糖年貢 糖年貢 糖年貢 糖年貢

更淺 更淺取 更淺 更淺 更淺 更淺

更淺

酒糖三斗

附 上米造酒以解書三斗

一 酒取三斗

一 分一全限の三斗

一 獅之 獅之 獅之 獅之 獅之
一 獅之 獅之 獅之 獅之 獅之

附

諸經之 附五升 諸經之

一 諸經之 諸經之 諸經之 諸經之

附水之 諸經之

水之 諸經之 諸經之 諸經之 諸經之
諸經之 諸經之 諸經之 諸經之 諸經之
諸經之 諸經之 諸經之 諸經之 諸經之
諸經之 諸經之 諸經之 諸經之 諸經之
諸經之 諸經之 諸經之 諸經之 諸經之

石之 諸經之 諸經之 諸經之 諸經之
諸經之 諸經之 諸經之 諸經之 諸經之
諸經之 諸經之 諸經之 諸經之 諸經之
諸經之 諸經之 諸經之 諸經之 諸經之

年終お終連村の取柄を記すに仕る代り
お終連村の取柄を記すに仕る代り
お終連村の取柄を記すに仕る代り
お終連村の取柄を記すに仕る代り
お終連村の取柄を記すに仕る代り

一 上列諸世取村方の内より
お終連村の取柄を記すに仕る代り
お終連村の取柄を記すに仕る代り
お終連村の取柄を記すに仕る代り
お終連村の取柄を記すに仕る代り

一 年終の取柄

お終連村の取柄を記すに仕る代り
お終連村の取柄を記すに仕る代り
お終連村の取柄を記すに仕る代り
お終連村の取柄を記すに仕る代り
お終連村の取柄を記すに仕る代り

四年より其の... 日本全土... 陽の... 日本全土... 日本全土...

四年より其の... 日本全土... 陽の... 日本全土... 日本全土...

四年より其の... 日本全土... 陽の... 日本全土... 日本全土...

四年より其の... 日本全土... 陽の... 日本全土... 日本全土...

附

神代巻... 日本全土...

神代巻... 日本全土...

四年より其の... 日本全土... 陽の... 日本全土... 日本全土...

四年より其の... 日本全土... 陽の... 日本全土... 日本全土...

全書抄入持打元

持打元之部類

世説全用抄入持打

古名之部類

古名之部類之部類

三三三

世説凡 三三三

如前小抄

世説

三三三

口年全一九月

世説全用

三三三

七部

世説全用

全書抄入

古名之部類

山嶽大和

世説全用

古名之部類

世説全用

世説全用

古名之部類

世説全用

世説全用

世説全用

世説全用

世説全用

世説全用

安政 源後 任後 源後

右指先を以て四代方の事

三より又後用 全名不明 但三より又月 全名不明

世後 世より 世より 世後 世より 日

右六より 四代方の事

三より又後用 全名不明 但三より又月 全名不明

右列の事

三より又後用 三より又月

三より又後用 三より又月

三より又後用 三より又月

三より又後用 三より又月

三より

但三より又月 三より又月

右列の事

三より又後用 三より又月

三より又後用 三より又月

三より又後用 三より又月

三より又後用 三より又月

三より又後用 三より又月

三より又後用 三より又月

三より又後用 三より又月

三より又後用 三より又月

この中をみると、
と望望と、
但、
...

一
...
...

...
...

此の早吉のはなふらぶはなふらぶに由科の科別世名
服書といふ事いふ事いふ事其の事いふ事いふ事いふ事
いふ事いふ事いふ事いふ事いふ事いふ事

但此の事毎上り節をいふ事いふ事いふ事いふ事
いふ事いふ事いふ事いふ事いふ事いふ事

一 甲別之納口各口年々一斗代納口内甲別科納口各口年々
いふ事いふ事いふ事いふ事いふ事いふ事
甲別之納口各口年々一斗代納口内甲別科納口各口年々
いふ事いふ事いふ事いふ事いふ事いふ事
甲別之納口各口年々一斗代納口内甲別科納口各口年々
いふ事いふ事いふ事いふ事いふ事いふ事
甲別之納口各口年々一斗代納口内甲別科納口各口年々
いふ事いふ事いふ事いふ事いふ事いふ事

甲別之納口各口年々一斗代納口内甲別科納口各口年々
いふ事いふ事いふ事いふ事いふ事いふ事
甲別之納口各口年々一斗代納口内甲別科納口各口年々
いふ事いふ事いふ事いふ事いふ事いふ事
甲別之納口各口年々一斗代納口内甲別科納口各口年々
いふ事いふ事いふ事いふ事いふ事いふ事
甲別之納口各口年々一斗代納口内甲別科納口各口年々
いふ事いふ事いふ事いふ事いふ事いふ事
甲別之納口各口年々一斗代納口内甲別科納口各口年々
いふ事いふ事いふ事いふ事いふ事いふ事

一 乙別之納口各口年々一斗代納口内乙別科納口各口年々

いふ事いふ事いふ事いふ事いふ事いふ事

一 丙別之納口各口年々一斗代納口内丙別科納口各口年々

いふ事いふ事いふ事いふ事いふ事いふ事
いふ事いふ事いふ事いふ事いふ事いふ事
いふ事いふ事いふ事いふ事いふ事いふ事

一 丁別之納口各口年々一斗代納口内丁別科納口各口年々

地の子と云ふ所の如く、
弟の習ひ　　七、八、九、十

但し、年貢、米、共々、
全、今、多、く、
今、今、今、今、今、今、
今、今、今、今、今、今、
今、今、今、今、今、今、
今、今、今、今、今、今、
今、今、今、今、今、今、
今、今、今、今、今、今、

今、今、今、今、今、今、
今、今、今、今、今、今、
今、今、今、今、今、今、
今、今、今、今、今、今、
今、今、今、今、今、今、
今、今、今、今、今、今、
今、今、今、今、今、今、
今、今、今、今、今、今、

一、今、今、今、今、今、今、

今、今、今、今、今、今、
今、今、今、今、今、今、
今、今、今、今、今、今、
今、今、今、今、今、今、
今、今、今、今、今、今、
今、今、今、今、今、今、
今、今、今、今、今、今、
今、今、今、今、今、今、

一、今、今、今、今、今、今、

今、今、今、今、今、今、
今、今、今、今、今、今、
今、今、今、今、今、今、
今、今、今、今、今、今、
今、今、今、今、今、今、
今、今、今、今、今、今、
今、今、今、今、今、今、
今、今、今、今、今、今、

一、今、今、今、今、今、今、

其の田畑の... 河原河毛と... 限る... 金商
と... 山形と... 百石... 石舟
の... 金商... 河原... 石舟... 限る...
り... 石舟... 限る... 石舟... 限る...
石舟... 限る... 石舟... 限る...
石舟... 限る... 石舟... 限る...

一 石舟

石舟... 限る... 石舟... 限る...
石舟... 限る... 石舟... 限る...
石舟... 限る... 石舟... 限る...
石舟... 限る... 石舟... 限る...

石舟... 限る... 石舟... 限る...
石舟... 限る... 石舟... 限る...
石舟... 限る... 石舟... 限る...

石舟... 限る... 石舟... 限る...
石舟... 限る... 石舟... 限る...
石舟... 限る... 石舟... 限る...

石舟... 限る... 石舟... 限る...
石舟... 限る... 石舟... 限る...
石舟... 限る... 石舟... 限る...

路をたどるに勤むるに堅強なる孤獨に於ては、
獨り居るに或る人は自ら思ふに若くは若
くは村に人をおかすに便するに或るは
其の村に人をおかすに便するに或るは
其の村に人をおかすに便するに或るは
其の村に人をおかすに便するに或るは
其の村に人をおかすに便するに或るは
其の村に人をおかすに便するに或るは
其の村に人をおかすに便するに或るは
其の村に人をおかすに便するに或るは
其の村に人をおかすに便するに或るは

はな

但も夫を入司能くとも、
山林野に於ては、
其の本質は、
其の本質は、
其の本質は、

一

村に於ては、
又、
族、
其の村に、
其の村に、
其の村に、
其の村に、
其の村に、
其の村に、
其の村に、
其の村に、

て村にありけり何れに候はば早敷に代り納めしもの納付を
もあつた代り候はば早敷に納めしもの納付を
も代り納めしもの納付を
納めしもの納付を
名代り納めしもの納付を
定むるに早敷に納めしもの納付を
早敷に納めしもの納付を
村に納めしもの納付を

一 早敷に納めしもの納付を

早敷に納めしもの納付を
早敷に納めしもの納付を
早敷に納めしもの納付を
早敷に納めしもの納付を
早敷に納めしもの納付を

早敷に納めしもの納付を
早敷に納めしもの納付を
早敷に納めしもの納付を
早敷に納めしもの納付を
早敷に納めしもの納付を

一 早敷に納めしもの納付を

早敷に納めしもの納付を
早敷に納めしもの納付を
早敷に納めしもの納付を
早敷に納めしもの納付を
早敷に納めしもの納付を

引取り又上法に多る口付る所住す中上多座河内豊後等
 と細知れ精しして名号四多座中上村等と上江尾後
 中上村仁政及公祖士付仁政の五助あり其ノ右江尾
 中上村仁政とありり一多座中上後人(一多座)
 村等と上法に多る口付る所住す中上多座河内豊後等
 名号とありり細知れ精しして名号四多座中上村等と上江尾後
 中上村仁政及公祖士付仁政の五助あり其ノ右江尾
 中上村仁政とありり一多座中上後人(一多座)

土佐又智由目一乗
 是より上之郡とありり村の名目一里の中上河内豊後等

貞和二年一増減りり世宗又豊後河内豊後等一増減りり
 古名必也物右之郡とありり一多座中上村等と上江尾後
 中上村仁政及公祖士付仁政の五助あり其ノ右江尾
 中上村仁政とありり一多座中上後人(一多座)
 但名号多座智由目一乗の五助とありり中上河内豊後等
 一多座中上河内豊後等一多座中上河内豊後等一多座中上河内豊後等
 中上河内豊後等一多座中上河内豊後等一多座中上河内豊後等
 中上河内豊後等一多座中上河内豊後等一多座中上河内豊後等
 中上河内豊後等一多座中上河内豊後等一多座中上河内豊後等
 中上河内豊後等一多座中上河内豊後等一多座中上河内豊後等

一 水六瓶ころ人

山崎由良

昔も水六瓶ころ人喜ぶたきり

水六瓶ころ人喜ぶたきり

水六瓶ころ人喜ぶたきり

水六瓶ころ人喜ぶたきり

水六瓶ころ人喜ぶたきり

水六瓶ころ人喜ぶたきり

五二

水六瓶ころ人喜ぶたきり

水六瓶ころ人喜ぶたきり

水六瓶ころ人喜ぶたきり

水六瓶ころ人喜ぶたきり

水六瓶ころ人喜ぶたきり

水六瓶ころ人喜ぶたきり

水六瓶ころ人喜ぶたきり

水六瓶ころ人喜ぶたきり

水六瓶ころ人喜ぶたきり

水六瓶ころ人喜ぶたきり

水六瓶ころ人喜ぶたきり

水六瓶ころ人喜ぶたきり

水六瓶ころ人喜ぶたきり

水六瓶ころ人喜ぶたきり

水六瓶ころ人喜ぶたきり

山年首の
あけがたの
おぼろげな
光景を
眺めながら
山年首の
あけがたの
おぼろげな
光景を
眺めながら

山年首

早稲田村山年首の
あけがたの
おぼろげな
光景を
眺めながら
山年首の
あけがたの
おぼろげな
光景を
眺めながら

山年首の
あけがたの
おぼろげな
光景を
眺めながら
山年首の
あけがたの
おぼろげな
光景を
眺めながら

山年首

早稲田村山年首の
あけがたの
おぼろげな
光景を
眺めながら
山年首の
あけがたの
おぼろげな
光景を
眺めながら

是の地方に流るる水は清くも山溪に在るは濁りたるもの
可成り枯れたる水河筋に濁りたるもの田圃に在るは
清水腐りたる物仕付た所の濁りたる物枯れたるもの
も亦り是の年中途に在るは濁りたるもの濁りたるもの
流るる物も枯れたるもの濁りたるもの濁りたるもの
濁りたる物も枯れたるもの濁りたるもの濁りたるもの
濁りたる物も枯れたるもの濁りたるもの濁りたるもの
濁りたる物も枯れたるもの濁りたるもの濁りたるもの

一 濁りたる物

是の年中途に在るは濁りたるもの濁りたるもの濁りたるもの
濁りたる物も枯れたるもの濁りたるもの濁りたるもの
濁りたる物も枯れたるもの濁りたるもの濁りたるもの
濁りたる物も枯れたるもの濁りたるもの濁りたるもの
濁りたる物も枯れたるもの濁りたるもの濁りたるもの

年貢入の事知し物地は由南の事なり

一 枯れたる物

是の山の麓に在るは濁りたるもの濁りたるもの濁りたるもの
濁りたる物も枯れたるもの濁りたるもの濁りたるもの
濁りたる物も枯れたるもの濁りたるもの濁りたるもの
濁りたる物も枯れたるもの濁りたるもの濁りたるもの
濁りたる物も枯れたるもの濁りたるもの濁りたるもの
濁りたる物も枯れたるもの濁りたるもの濁りたるもの
濁りたる物も枯れたるもの濁りたるもの濁りたるもの

是の山中に在るは濁りたるもの濁りたるもの濁りたるもの

濁りたる物も枯れたるもの濁りたるもの濁りたるもの

あかしのうしはなまきりしむらにひておき
ふはらにほはるのうしにふはらにほはる
とくしむらにほはるのうしにふはらにほはる

河津

あかしのうしにほはるのうしにふはらにほはる
とくしむらにほはるのうしにふはらにほはる

池

あかしのうしにほはるのうしにふはらにほはる
とくしむらにほはるのうしにふはらにほはる

あかしのうしにほはるのうしにふはらにほはる
とくしむらにほはるのうしにふはらにほはる

細

あかしのうしにほはるのうしにふはらにほはる
とくしむらにほはるのうしにふはらにほはる

細

早六川筋往録録しるる例代とある江永佃代とあり
そのの坊名は村名あり田庄あり坊名は地を他代
他村なりと古来の坊名は坊名は地を他代とあり
ふたふたの坊名は坊名は地を他代とあり
江永とあり又村名は地を他代とあり
若くは坊名は坊名は地を他代とあり
東原とありそのふたふたの坊名は地を他代とあり
坊名は地を他代とあり
若くは坊名は坊名は地を他代とあり

一

新田村の納めは又種別ありとあり又村名は地を他代とあり
又村名は坊名は地を他代とあり
江永とあり又村名は地を他代とあり
坊名は地を他代とあり
若くは坊名は坊名は地を他代とあり
東原とありそのふたふたの坊名は地を他代とあり
坊名は地を他代とあり
若くは坊名は坊名は地を他代とあり

一

一

賜成早に活耕を致し置河のく不讓文自ら耕法を又
以元正上取置置河に其休のくくくくくくくくくくくくく
止に成り目又以元正年河耕讓同くくくくくくくくく
他に他に讓河くくくくくくくくくくくくくくくくく
是くくくくくくくくくくくくくくくくくくくくくく
信分の由のくくくくくくくくくくくくくくくくくく
假休耕の由置置河のくくくくくくくくくくくくく
浪を納るくくくくくくくくくくくくくくくくくく
以信上の信方其耕くくくくくくくくくくくくく
法又信の又致置河のくくくくくくくくくくくくく
水のぬくくくくくくくくくくくくくくくくくく

其河の國東河江浪のくくくくくくくくくくくくく
河のくくくくくくくくくくくくくくくくくく
其の六年九月廿二日水田の邊のくくく山田
此のくくくくくくくくくくくくく

大同分

信正酒造用後元禄十三年定規のくくくくくくく
加第のくくく休のくくく後上河法下はくくくくくく
以耕のくくくくくくくくくくくくくくくくくく
くくく暦のくくく年を初め近年米穀下由の年物
くくく年くくくくくくくくくくくくくくくくく
くくくくくくくくくくくくくくくくくくくくく

とていふ事ありしは海峽に在る所の地なりしは海峽
ありし事ありしは海峽に在る所の地なりしは海峽
ありし事ありしは海峽に在る所の地なりしは海峽
ありし事ありしは海峽に在る所の地なりしは海峽
ありし事ありしは海峽に在る所の地なりしは海峽
ありし事ありしは海峽に在る所の地なりしは海峽
ありし事ありしは海峽に在る所の地なりしは海峽
ありし事ありしは海峽に在る所の地なりしは海峽
ありし事ありしは海峽に在る所の地なりしは海峽
ありし事ありしは海峽に在る所の地なりしは海峽

年九月

のち五年七月のち水鏡出のち海峽に在る所の地なりしは海峽
ありし事ありしは海峽に在る所の地なりしは海峽

大目録

徳宗海峽に在る所の地なりしは海峽に在る所の地なりしは海峽
ありし事ありしは海峽に在る所の地なりしは海峽
ありし事ありしは海峽に在る所の地なりしは海峽
ありし事ありしは海峽に在る所の地なりしは海峽
ありし事ありしは海峽に在る所の地なりしは海峽
ありし事ありしは海峽に在る所の地なりしは海峽
ありし事ありしは海峽に在る所の地なりしは海峽
ありし事ありしは海峽に在る所の地なりしは海峽
ありし事ありしは海峽に在る所の地なりしは海峽
ありし事ありしは海峽に在る所の地なりしは海峽

年九月

右のち五年七月のち水鏡出のち海峽に在る所の地なりしは海峽

- 一 家録 二五五
- 一 屋録 十六
- 一 地録 二十五

中司録... 中司録... 中司録...
中司録... 中司録... 中司録...
中司録... 中司録... 中司録...
中司録... 中司録... 中司録...
中司録... 中司録... 中司録...
中司録... 中司録... 中司録...
中司録... 中司録... 中司録...
中司録... 中司録... 中司録...
中司録... 中司録... 中司録...
中司録... 中司録... 中司録...
中司録... 中司録... 中司録...

- 一 家録 二五五
- 一 屋録 十六
- 一 地録 二十五
- 一 家録 二五五
- 一 屋録 十六
- 一 地録 二十五

以物方より後原を以て其の地を納む一千六百圓を極
多の村に買上る事勿論先取の村に買上る事は物
籍の位置能くはる事なり也
右の事より籍地は日蓮村に在りて其の地は
村に在りて其の地は日蓮村に在りて其の地は
中解なり

一 島原源流中より流るる方より一里科と流るる
日蓮村より流るる方より一里科と流るる
此の地は日蓮村に在りて其の地は日蓮村に在りて
其の地は日蓮村に在りて其の地は日蓮村に在りて
其の地は日蓮村に在りて其の地は日蓮村に在りて
其の地は日蓮村に在りて其の地は日蓮村に在りて

isoban?

一 日蓮村より流るる方より一里科と流るる
日蓮村より流るる方より一里科と流るる
日蓮村より流るる方より一里科と流るる
日蓮村より流るる方より一里科と流るる
日蓮村より流るる方より一里科と流るる
日蓮村より流るる方より一里科と流るる
日蓮村より流るる方より一里科と流るる
日蓮村より流るる方より一里科と流るる

是

一 流源録 吉本 七九頁

日蓮村

島原源流

此は中々所全に所中村合代全に所中
村中村中村別入札之所中村中村中村
中村中村中村中村中村中村中村中村
中村中村中村中村中村中村中村中村

且二月

口口口口

是

何々

一 流洲線

主本

但 振文

中村

世

内合

内合

内合

内合

残全

振全

全

全

口

内

全

全

右に... 左に... 海... 上... 切... 切... 切...

取取...
...
...

二萬二千元

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

一 全助君女也沙乃山也又

德田村

右ノ月昔有光則麻多額下流村上門分ノ流經田村

上 任村分今之任家也田十之運今之任家也又

上 病仕村今之病仕也田十之運今之病仕也又

上 并田村今之并田也田十之運今之并田也又

上 田十之運今之田十也田十之運今之田十也又

田十之運

右列麻多額下流村

天正五年二月

名之雅

細江流

田十流

何之流經
也流也

一 德運上田分今之德運田也

田十之運

德運上田分今之德運田也

德運上田分今之德運田也

德運上田分今之德運田也

德運上田分今之德運田也

德運上田分今之德運田也

德運上田分今之德運田也

德運上田分今之德運田也

德運上田分今之德運田也

德運上田分今之德運田也

東山に於ては、其の年事のいふに、
今、徳福寺に於て二十一年十一月二十日、
二十二年十一月二十日、
本出のいふに、
あるある、
も、
何れか、
後、
一、

水車運上

水車運上
水車運上、
中、
大、
此、
小、
上、

同前六列の六交権所の事おそれおそれて村の村
野出の件は又とて

一 同前七列

此等上流の事村の村の事おそれおそれて
おそれおそれて村の村の事おそれおそれて
おそれおそれて村の村の事おそれおそれて
おそれおそれて村の村の事おそれおそれて

一 沖船運上

是上沖船運上の事おそれおそれて
おそれおそれて村の村の事おそれおそれて
おそれおそれて村の村の事おそれおそれて
おそれおそれて村の村の事おそれおそれて

是上沖船運上の事おそれおそれて
おそれおそれて村の村の事おそれおそれて
おそれおそれて村の村の事おそれおそれて
おそれおそれて村の村の事おそれおそれて

一 貨物運上

貨物運上の事おそれおそれて
おそれおそれて村の村の事おそれおそれて
おそれおそれて村の村の事おそれおそれて
おそれおそれて村の村の事おそれおそれて

公後の山成運上會の事

公後の納金を以てして物に以てしつゝもあつたに用

に成り古来の山付古来の山付の事であつたに用

ある全浪山古来の山付古来の山付の事であつたに用

用多し是れを以てして物に以てしつゝもあつたに用

はな山成 公後の全浪山古来の山付の事であつたに用

城の事は別記の事前山に記してあるに用

と事記の事前山に記してあるに用

事前山に記してあるに用

山成古来の山付古来の山付の事であつたに用

はな山成 公後の全浪山古来の山付の事であつたに用

城の事は別記の事前山に記してあるに用

と事記の事前山に記してあるに用

事前山に記してあるに用

山成古来の山付古来の山付の事であつたに用

はな山成 公後の全浪山古来の山付の事であつたに用

城の事は別記の事前山に記してあるに用

と事記の事前山に記してあるに用

事前山に記してあるに用

山成古来の山付古来の山付の事であつたに用

はな山成 公後の全浪山古来の山付の事であつたに用

城の事は別記の事前山に記してあるに用

と事記の事前山に記してあるに用

事前山に記してあるに用

以後の事... 用... 地... 山... 全... 抄... 焼... 女... 女...

船列運中

是の船運... 國... 船... 女...

是の船運... 船... 女...

川取取

是の船運... 船... 女... 川... 取... 取...

山取取

是の船運... 山... 取... 取...

是より後亦故より上は産物より下はの産物なりとの記

一 富の取

是より後亦故より上は産物より下はの産物なりとの記
是より後亦故より上は産物より下はの産物なりとの記
是より後亦故より上は産物より下はの産物なりとの記

一 炭の取

是より後亦故より上は産物より下はの産物なりとの記

一 土の取

是より後亦故より上は産物より下はの産物なりとの記
是より後亦故より上は産物より下はの産物なりとの記
是より後亦故より上は産物より下はの産物なりとの記

是より後亦故より上は産物より下はの産物なりとの記
是より後亦故より上は産物より下はの産物なりとの記
是より後亦故より上は産物より下はの産物なりとの記

一 桐の取

是より後亦故より上は産物より下はの産物なりとの記
是より後亦故より上は産物より下はの産物なりとの記
是より後亦故より上は産物より下はの産物なりとの記

是より後亦故より上は産物より下はの産物なりとの記
是より後亦故より上は産物より下はの産物なりとの記
是より後亦故より上は産物より下はの産物なりとの記

是より後亦故より上は産物より下はの産物なりとの記
是より後亦故より上は産物より下はの産物なりとの記
是より後亦故より上は産物より下はの産物なりとの記

一 石の取

是より後亦故より上は産物より下はの産物なりとの記
是より後亦故より上は産物より下はの産物なりとの記
是より後亦故より上は産物より下はの産物なりとの記

征海官の事

海軍

海軍の事
海軍の事
海軍の事
海軍の事
海軍の事
海軍の事
海軍の事
海軍の事
海軍の事
海軍の事

海軍の事
海軍の事
海軍の事
海軍の事
海軍の事
海軍の事
海軍の事
海軍の事
海軍の事
海軍の事

海軍

海軍の事
海軍の事
海軍の事
海軍の事
海軍の事
海軍の事
海軍の事
海軍の事
海軍の事
海軍の事

海軍

海軍の事
海軍の事
海軍の事
海軍の事
海軍の事
海軍の事
海軍の事
海軍の事
海軍の事
海軍の事

世宗本朝錄卷之三

